

# 第 10 回 西日本インカレ（合同研究会）専用企画シート

必ず「企画シート作成上の注意」をご確認いただき、ご記入をお願いいたします。

大学名（フリガナ）	学部名（フリガナ）	所属ゼミナール名（フリガナ）
リュウコクダイガク	ケイエイガクブ	テラシマカズオ
龍谷大学	経営学部	寺島和夫ゼミ

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数（代表者含む）
テラシマゼミサンハン	オカモトタクム	5
寺島ゼミ 3 班	岡本拓夢	

## 研究テーマ（発表タイトル）

なぜ食堂に女性は少ないのか～食堂購入比率から男女の意思決定を見る～

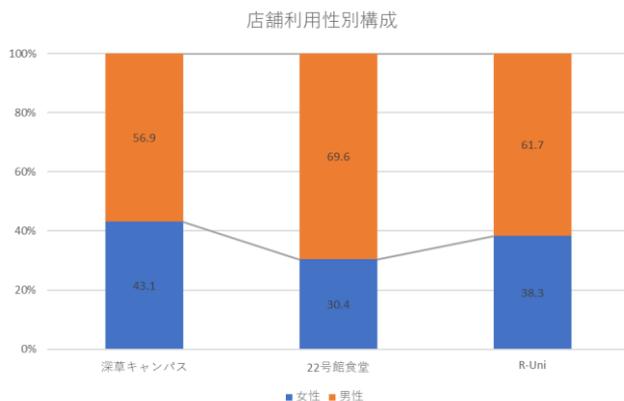
### 1. 研究概要（目的・狙いなど）

女性の食堂利用率が 30.4%と龍谷大学深草キャンパスの男女比から見ても少なく、女性の利用率を上げるためにはどういったメニューの充実が必要かを調べた。また、比較対象として男性も調査した。

現状の人気メニューを確認し、栄養成分・調理方法・分野から新たなメニューを作るとするならばどういったものを作るべきなのかということを経済学から調査し、分析することを目的としている。

### 2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

マーケット環境としては龍谷大学深草キャンパスには今回調査の対象とした 22 号館地下食堂のほかにも 3 号館地下食堂、4 号館ミールカフェ、カフェ樹林、スターバックス、またコンビニとして R-uni、セブンイレブンといった食事を提供する店舗が存在する。下記のグラフではキャンパスの男女比と 22 号館地下食堂と R-uni のみの男女比であるが、22 号館地下食堂の女性利用率が全体から見ても少ないことがわかる。



### 3. 研究テーマの課題

女性の利用率を上げるためにはどういったメニューの充実が必要かということを経済学の課題としている。そのために男女による意思決定の違いを確認し、現在利用している多くの男性はそのままに、女性がより利用したいと思えるものを発見することを課題としている。

#### 4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

男女別に上位数種類の特徴を分析し、そのあと回帰分析を利用し、男女の好みを探っていく。

#### 5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

食堂を運営している学校生協から2017年4月に行われた利用率調査のデータをいただき、それを分析していく。そのさいに食堂では主菜、小鉢、どんぶり、麺類を扱っているが、男女のちがいが見ただけではわかりにくく、最も種類が多く調理方法も多岐にわたっている主菜を対象を絞った。

データには価格や栄養成分、調理方法など多くの項目があるが、赤・緑・黄という独自の栄養成分の分類に加え、洋風や和風といったことを分類する分野、調理方法。男女の購入率に項目を絞って分析を行う。

のちに回帰分析を行うために分野と調理方法は質的データであるため量的データに変換するダミー変数を使用し、また比較を容易にするために標準化を行った。

分析では男女とも購入率を基準に降順に並べ替え、上位の商品の特徴を分析した。そのあとで、回帰分析を行い、各項目がどの程度男女の購入率に影響を及ぼしているのかを分析した。

#### 6. 結果や今後の取り組み

女性は分析した結果、仮定と仮説では野菜を好み、揚げ物などを好まないと考えたが、野菜には選択する上で考えず、揚げ物が人気であった。単品だと172円と他に比べ価格が安いので、小鉢を選んでいる、またはお弁当と食べている、または昼食にお金をかけないということが考えられる。そこから提案として、ひとつは洋風の揚げ物で単品の商品を作る。もうひとつは現在キャベツが乗っている商品からキャベツを抜いて値段を安くする、という2つ挙げられる。

男性は分析した結果、洋風ではない和風か中華のメニューを男性が好み、仮説では揚げ物を好むと考えたが、焼くや炒めるといった調理方法を好むことが分かった。そこから提案としては現在の野菜炒め等の中華で調理方法が炒めるの商品をそのまま継続するということと言える。

#### 7. 参考文献

- ・ 内田学、金子喜久、斉藤嘉一『文系でもわかるビジネス統計入門』東洋経済新報社 2010年

●パワーポイント内に動画を使用されている場合、動画を使用しているスライドのページをご記入ください。

●発表時に使用する成果物（例、商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査に使用したアンケート）

**【企画シート作成上の注意】 ※「第10回 西日本インカレ（合同研究会）大会参加要項」も合わせてご確認のうえ、企画シートの作成を行ってください。**

- ・本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、審査を行っていただく大学教員・企業の方々に事前にお渡しいたします。
- ・本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、翌年3月に公開予定の「日経ビジネス電子版」にリンクされた特設サイトに掲載されます。
- ・本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。
- ・本企画シートは、作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。事務局から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡します。
- ・大会参加申込み時点から、チーム編成の変更（チームの人数・交代など）は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、西日本インカレ事務局にご連絡ください。事務局より手続きについてご連絡をさせていただきます。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。
- ・商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日経BP社・日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。
- ・書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。
- ・発表時に使用する成果物がありましたらご記入ください。記入がない成果物は大会当日使用することができません。また記入いただいた内容について、事務局から代表者の方に確認をさせていただく場合がございます。
- ・電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。